

患者さまへ

「中心性漿液性脈絡網膜症における超広角蛍光眼底造影を用いた脈絡膜循環時間の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることができる場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を提示して適切な同意を得ることが必要とされています。同意いただける場合は、その旨を担当者にお伝えください。

1 研究の対象	2024 年 4 月から 2025 年 12 月までに吹田徳洲会病院 眼科を受診し、中心性漿液性脈絡網膜症(CSC)およびその疑いの診断で広角インドシアニングリーン蛍光眼底造影を受けた/受ける 20 歳以上の患者さま
2 研究目的・方法	中心性漿液性脈絡網膜症(CSC)は、インドシアニングリーン蛍光眼底造影で見られる、脈絡膜血管の拡張と脈絡膜透過性亢進によって特徴づけられる疾患の一つで、従来、インドシアニングリーン蛍光眼底造影を用いた脈絡膜循環の解析は中心 50 度以内に限られていましたが、超広角眼底写真の登場によって、網膜周辺部 200 度までの観察が可能となり、渦静脈の詳細な形態学的変化が、観察可能となりました。 本研究では、動画撮影が可能な広角インドシアニンググリーン蛍光眼底造影における CSC 患者さまの脈絡膜循環時間から渦静脈のうっ滞による脈絡膜循環障害の程度が類推でき、適切な改善薬を検討できることを目的としております。 該当する患者さまより、登録時以降に臨床情報を診療録より取得いたします。 研究の期間:施設院長許可後(2025 年 2 月予定) ～2026 年 12 月
3 情報の利用拒否	同意いただいた後であっても、いつでも撤回できます。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。ただし、同意の撤回またはご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、原疾患、治療歴、既往歴、内服薬、広角インドシアニンググリーン蛍光眼底造影(株式会社ニデックの Mirante)を用いた脈絡膜循環時間、視力、眼圧、OCT b-scan(株式会社トプコンの Triton)における中心窩脈絡膜厚等
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者: 吹田徳洲会病院 眼科 副院長 眞野富也 大阪府吹田市千里丘西 21-1 連絡先: 06-6878-1110
-----------	---

2025 年 2 月 28 日作成(第 1.1 版)